

シリーズ 原発・いのち・みらい その2

見玉二八氏の講演を聞いて

福島第一原発で何が起きているのか 低線量安全説に根拠なし

理事 西川 忠之(能美市・泌尿器科)

三月十一日、東北地方太平洋沖地震の激しい揺れと大津波が福島第一原発を襲い全電源喪失に始まる原子炉の冷却機能喪失に陥り、...



市民公開で原発問題講演を開く(4月28日、近江町交流プラザ)

五月下旬の現在では一三三号機のすべてが当初よりメルトダウンしている事実が後出しで報道されたが、講演当時、炉の冷却を誤ると、ふたたび水素爆発程度は起こりうる不安定な状況ととらえられていた。...



港に座礁し、船首が道路に飛び出した大型タンカー(5月18日・釜石港)

五月十五日(日)から十九日(木)にかけて、岩手県保険医協会の支援活動に参加しました。任務は、岩手県内陸部の北上市在住...

しかし、一人の会員の先生によくお話を伺ってみると、「実は陸前高田市で診療していた兄と、友人を今度の津波で亡くした」と、ご自身に被害はなくても、...

沿岸部の想像を超える被害にしばし呆然と

岩手県保険医協会の支援活動に参加して

事務局 杉野 洋一郎



三陸のリアス式海岸沿いの住宅地はほとんどが壊滅状態を高台を整地して家を建てる必要を強く感じた

せる光景でした。これまで、一九九五年の阪神大震災、二〇〇七年の能登半島地震の支援活動に参加してきましたが、被災した住民の方々の心のケアや生活手